

【第二次大戦後～日本の国際社会復帰・冷戦】

1945年 ポツダム宣言の受諾 「ポツダムで 幾夜合議し 出た宣言」

- ・アメリカが沖縄と硫黄島に上陸する。
- ・アメリカ、イギリス、ソ連がヤルタ会談。
⇒ ドイツの戦後処理とソ連の対日参戦（8月8日に宣戦布告）を決める。
- ・アメリカの原爆投下。8月6日 広島。8月9日 長崎。
- ・日本が降伏条件のポツダム宣言を受け入れる。
- ・8月15日 天皇の玉音放送による終戦。

1945年 国際連合の発足 「国連は 仲良くせよと 説く仕事」

- ・本部はニューヨーク。
- ・常任理事国は勝利した連合国。アメリカ、フランス、ソ連、中国、イギリス。
安全保障理事会で拒否権を持つ。

1945年 マッカーサーが来日

- ・GHQ（連合軍最高司令官総司令部）からアメリカのマッカーサーが来る。
- ・戦後の民主化政策は①～⑤。順番も重要。
 - ① 財閥解体：三井・住友・三菱などの財閥を解体して、大企業の支配を止めた。
 - ② 婦人参政権：20歳以上の男女すべてに選挙権を与える。
 - ③ 農地改革：政府が大地主から農地を買い上げて、小作人に安く売る。
自作農を増やす政策。

1946年 ④ 日本国憲法の公布 「日本の行く進路指す 新憲法」

- ・1946年11月3日公布。1947年5月3日施行。
- ・第1条：天皇は国民の象徴。第9条：戦争の放棄。
- ・三大原則：国民主権、基本的人権の尊重、平和主義。
- ・国民の三大義務：勤労、納税、子どもに普通教育を受けさせる義務

注：極東国際軍事裁判＝東京裁判が開かれる。

日本の戦争犯罪人（戦犯）を戦勝国が裁く。東条英機が死刑となる。

1947年 ⑤ 教育基本法、独占禁止法の制定 「今日 独占 やめような」

- ・6、3年の義務教育制度が始まる。教育勅語は廃止される。

- 1949年 中華人民共和国の成立 「中国でき 行く祝賀デモ 天安門」
・ 蒋介石の国民政府と毛沢東の共産党が大戦後に内戦を始める。
・ 共産党が勝つ。毛沢東を主席となり、北京を首都にして中華人民共和国が成立。

- 1949年 北大西洋条約機構（NATO）の結成
・ アメリカを中心とした資本主義国の軍事同盟。

ドイツが東西に分断
され、中国も社会主義
国になり、危険！

- 1950年 朝鮮戦争が始まる 「朝鮮へ 行く号令は 境越え」
・ 1948年に朝鮮が大韓民国（韓国）と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）に分かれて独立。
・ 北朝鮮が北緯 38度の境界線を越えて、韓国へ侵入。戦争になる。
・ 日本では特需景気が起こる。警察予備隊がつくられる。

- 1951年 サンフランシスコ平和条約 「シスコでは ひどく好意の平和条約」
・ 日本はサンフランシスコで 48か国と平和条約を結び、独立を回復する。
・ 吉田茂首相が条約に調印。日米安全保障条約も。

- 1951年 日米安全保障条約 「日米が ひどく恋して 安保でき」
・ サンフランシスコ条約と同時に、日本の独立後もアメリカ軍の駐留を認める。
・ 1950年 警察予備隊 ⇒ 1952年 保安隊 ⇒ 1954年 自衛隊となる。

- 1954年 第五福竜丸が被ばくする 「核が ひどくごしごし 第五福竜丸」
・ 船員たちがビキニ沖で、水爆実験による「死の灰」を浴びる。
→翌年、第一回原水爆禁止世界大会（in 広島）が開催される。

- 1955年 アジア・アフリカ会議 「バンドンに 美德の心 集結し」
・ インドネシアのバンドンに代表が集まり会議を開く。
・ ヨーロッパの植民地支配からの独立と平和十原則を決議する。

- 1955年 ワルシャワ条約機構の結成 「ワルシャワにゴーゴー」
・ ソ連を中心とした社会主義国の軍事同盟。NATO に対抗。

- 1956年 日ソ共同宣言 「日ソ間 そろそろ仲良く 行くころだ」
- ・日本とソ連で戦後の国交が回復する。鳩山一郎が署名。
⇒日本の国連復帰が認められる。
 - ・北方領土（国後・択捉・歯舞群島・色丹）の領有に関して問題が残る。
- 1960年 日米安全保障条約の改定 「日米の 人組むお互い 新安保」
- ・日本の領域で日米のどちらかが攻撃されたとき、在日米軍と自衛隊が協力。
 - ・学生の反対運動が盛んになり、東大の安田記念講堂で立てこもり事件が起きる。
 - ・岸信介が署名
- 注) この年、池田勇人の所得倍増計画
- 1961年 ベルリンの壁ができる 「ソビエトの黒い壁」
- ・第二次大戦後、1949年にドイツは西ドイツと東ドイツに分断された。
 - ・資本主義の西ドイツ、社会主義の東ドイツは行き来ができていた。
 - ・冷戦が進み、ソビエトがベルリンに壁を作ってドイツが完全に分断された。
- 1962年 キューバ危機 「苦勞に耐える キューバ危機」
- ・ソ連の潜水艦がキューバの近海からアメリカ本土を核で攻撃しようとした。
 - ・冷戦の緊張が高まり、もう少しで核戦争が起こるところだった。
- 1963年 部分的核実験禁止条約 「ひどくむさくるしい 核実験」
- ・キューバ危機を反省して、ソ連とアメリカが互いに核実験を減らした。
- 1964年 東京オリンピック 「東京に 人来るしあわせ オリンピック」
- ・アジアで初のオリンピックが開かれる。
 - ・同じ年に東海道新幹線が開通する。どちらも日本の戦後復興を印象づける。
- 1965年 日韓基本条約 「仲直り 一苦勞ご立派 日韓基本条約」
- ・日本と韓国の国交が回復した。佐藤栄作首相が調印。
- 1965年 ベトナム戦争が激化する（～75年まで） 「枯葉剤 むごい ベトナム戦争」
- ・ベトナム政府と反対派の内戦。アメリカは政府側、ソ連は反対派に援助。
 - ・朝鮮戦争、キューバ危機に続く冷戦。

1968年 小笠原諸島の日本復帰 「四葉のクローバーに願いをかけた 小笠原返還」
・大戦後、アメリカのものだった小笠原諸島が日本に返還された。

1970年 大阪万国博覧会が開かれる 岡本太郎の太陽の塔

1971年 環境庁の設置 「ひどくないか 環境は？」
・戦後の高度経済成長で公害が広がる。公害を監督するために環境庁を設置した。
・1967年 公害対策基本法 ⇒1993年 環境基本法 ⇒ 2001年 環境省
・四代公害病

病名	地域	原因
みなまた 水俣病	やつしろかい 熊本県八代海	メチル水銀
四日市ぜんそく	三重県四日市市	亜硫酸ガス
イタイイタイ病	じんつうがわ 富山県神通川	カドミウム
第二水俣病	あがの 新潟県阿賀野川	メチル水銀

1972年 沖縄返還 「夏に沖縄 日本へ返還」
・戦後にアメリカの統治した沖縄は、佐藤栄作首相によって日本に返還された。
・為替が固定相場制の1ドル=360円から、変動相場制に変わる。

1972年 日中共同声明 （沖縄返還と同じ年と覚える）
・田中角栄首相が、大戦後で断絶した中国との国交を回復させた。条約ではない。
・国交回復を記念して、上野動物園にパンダのランランとカンカンが贈られた。

1973年 石油危機 「中東の遠く波を受けた 石油危機」
・第四次中東戦争で、アラブ産油国が石油の大幅値上げと輸出制限を行った。
・石油を輸入に頼る日本では、石油危機が起こって高度経済成長が終わった。

1978年 日中平和友好条約 「得なはず 日中平和友好条約」
・福田赳夫首相が日中共同声明を発展させたものとして条約を結んだ。